頸部リンパ節・甲状腺 触診モデル

型番	コードNo
MW30	11412-000

頸部リンパ節・甲状腺 触診試験セット

型番	コードNo
MW31	11412-100

モデルの触診箇所を A タイプ・Bタイプの2モデルに分割した、試験等にお使いいただける設計です。

Aタイプ

左側 耳介前リンパ節
耳介後リンパ節
浅頸リンパ節
鎖骨上リンパ節

右側 深頸リンパ節
顎下リンパ節
後頸リンパ節
甲状腺

Bタイプ

左側 浅頸リンパ節
後頸リンパ節
オトガイ下リンパ節
顎下リンパ節

右側 深頸リンパ節
鎖骨下リンパ節
顎下リンパ節

※ 部位の状態については中面をご覧ください。

別売部品

模擬聴診器

コードNo
11445-030

モデルには指導用DVDが付属しています

DVD

頭頸部の診察で触診すべきリンパ節、甲状腺、耳下腺、顎下腺の触診について、手順とポイントを解説

1. 触診にあたっての準備と声掛け
2. 頸部リンパ節の触診
3. 唾液腺の診察
4. 甲状腺の診察
5. 実際の手順

（全18分）

● 製品は絶えず改良を続けておりますので、仕様・外観など予告なく変更になることがございます。予めご了承ください。
● このパンフレットに掲載の文章・情報・写真等については、許可なく無断転載・転用・コピーなどは固くお断りいたします。

2024.06

取扱店

製造元

KYOTO KAGAKU

URL https://www.kyotokagaku.com/jp/
e-mail rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

京都本社・工場
〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL.075-605-2510（直通）FAX.075-605-2519

東京支店
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL.03-3817-8071（直通）FAX.03-3817-8075

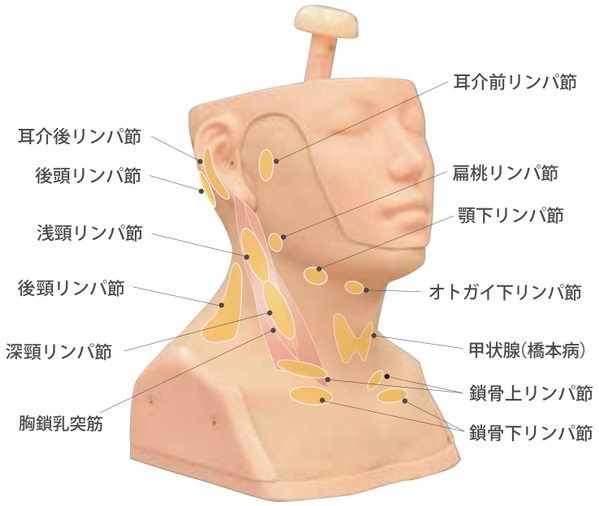
KYOTO KAGAKU

頸部リンパ節・甲状腺 触診モデル

指導者と学修者で診察所見を共有

触診部位

生体に近い触診感覚を再現した新素材による頸部モデルと付属の指導用 DVD により、正しい手技の手順や、患者での実習では難しかった診察所見の確認を実現しました。
モデルでは下記のリンパ節・甲状腺における様々な疾患が表現されています。
また、OSCE での頸部リンパ節、甲状腺触診にも最適です。（裏面の試験セット参照）



部位	モデルの状態
耳介後リンパ節	腫れた状態 / 非常に硬い
後頭リンパ節	表現なし
浅頸リンパ節	腫れた状態 / しこりと分かる硬さ
後頸リンパ節	腫れた状態 / しこりと分かる硬さ
深頸リンパ節	腫れた状態 / しこりと分かる硬さ
耳介前リンパ節	腫れた状態 / 非常に硬い
扁桃リンパ節	腫れた状態 / しこりと分かる硬さ
顎下リンパ節	腫れた状態 / しこりと分かる硬さ
オトガイ下リンパ節	腫れた状態 / しこりと分かる硬さ
鎖骨上リンパ節	腫れた状態 / 硬く触っても動かない
鎖骨下リンパ節	腫れた状態 / 硬く触っても動かない
甲状腺 (橋本病)	橋本病

期待される教育効果

- 生体に近い状態を再現しており、
  - 手つきだけの模倣を防止できます
  - より質の高い実技試験にも活用できます
- 指導用 DVD を用いることで、正しい手順を踏まえた効果的な自己学習を行えます
- 診察手技を異常所見や臨床推論と合わせて学べます

その他にも ...

POINT! 甲状腺の視診・触診に **嚥下の動きを再現**

モデル頭部のレバーで嚥下による喉の動きを再現

POINT! 生体に近い **素材を採用**

柔軟性に優れ生体に近い触診感覚を再現

各部位の触診ポイント

後頭リンパ節

外後頭隆起の両脇やや斜め下あたりを示指～環指で円を描くように触診。

耳介後リンパ節

乳様突起とその周辺のリンパ節で、示指～環指で円を描くように触診。

後頸リンパ節

後頸三角のリンパ節で、示指～環指の指腹で円を描くように触診。

鎖骨上リンパ節

患者に首を少し前に曲げてもらい、指で掘り出すようにして触診。

耳介前リンパ節

皮下の比較的浅いところにあるため指を伸ばして触診。

顎下リンパ節

指を少し曲げ皮下組織を引きだすように触診。顎下腺との間違いに注意。

オトガイ下リンパ節

示指～環指までの３指を下顎下縁に沿って下顎骨の内側に押しつけるように触診。

浅頸リンパ節

胸鎖乳突筋の上に乗るような形で触れる。示指～環指で円を描くように触診。

深頸リンパ節

首を触診側に少し傾け胸鎖乳突筋をゆるめ、親指と他の指で挟むようにして裏側を探る。

扁桃リンパ節

頸動脈とリンパ節を間違えないよう拍動の有無に注意し触診。

※ 写真はプロトタイプです。仕様・外観などは予告なく変更になることがございます。予めご了承ください。

▼監修

北海道大学 名誉教授 大滝純司

触診は、視診・聴診・打診と共に、身体診察の重要な手技の1つです。
しかし、触診の修得には独特の難しさがあります。触診は視診などと異なり、学習者が触知している感覚を指導者と共有することは難しいのです。
このため、患者さんなどを相手に実際の診察を学習する際、正しい手技で正確に診察所見を把握できているのかを確かめることは、学習する人自身にも、また、指導する側の人にも困難です。
このため、触診実習では、生体に近いモデルを使用した教育が、特に有効と考えられます。

※付属の活用の手引き (DVD) より

▼仕様

- ○ モデル：成人頭頸部　実物大
- ○ 材　質：軟質特殊樹脂 / 硬質樹脂
- ○ 大きさ：29 x 29 x 47 cm(専用ケース)
- ○ 重　量：6.5kg

▼構成

モデル本体	1 体
収納ケース	1 点
活用の手引き (DVD)	1 点
取扱説明書	1 冊

モデル本体は専用ケースに固定されています

保管時はケースを閉じてそのまま保管